

1 校訓 「至誠、規律、勤勉、親切、勇気」

2 教育目標方針

「生命と人権の尊重を基盤に、豊かでしなやかな心と身体をもち、主体的に学習し、たくましく生きる子どもを育成する」

3 めざす子ども像

- (1) 進んで学習し、深く考える子（学力）
- (2) 自分を大切にし、友だちと助け合い、「思い」を伝える子（人権）
- (3) 夢をもって、自ら学び続け、ねばり強くがんばる子（キャリア）

4 努力目標

(1) 「確かな学力」の向上をめざします。

- ・子ども一人ひとりを理解し、個に応じた指導を行い「わかる授業」を展開します。
- ・国語科を中心に、「書くこと、話すこと、聞くこと、読むこと」が好きな子どもを育成します。
- ・授業の中での話し合い活動、集会等での思いや考えの伝え合いを通して、コミュニケーション力の育成を図るとともに、仲間とともに学び合い、高まる子どもを育成します。
- ・基礎・基本の学力の定着をめざし、自ら学び考える子どもを育成します。
- ・学んだ力を使って、自ら問題を解決しようとする自立した子どもの育成をめざします。
- ・一人1台端末を有効活用した授業づくりを進めます。
- ・学校図書館を整備し、学校での読書活動をうながし、読書習慣の定着をめざします。

(2) 「人権」を大切に教育をめざします。

- ・子ども一人ひとりの人格を尊重し、思いやりの心を育みます。
- ・体験活動を大切にした「人権教育カリキュラム」を作成し、人や物との関わりを通して、人間としての生き方を学ばせるとともに、豊かな感性を育みます。
- ・部落差別をはじめ、あらゆる差別を許さない子どもを育成します。
- ・ありのままの自分をみつめ、自己肯定感を育み、自他を尊重する子どもを育成します。
- ・福祉教育（手話言語等）に取り組み、他者を理解し、共生する力を育てます。

(3) 「キャリア教育」の視点で教育活動を行い、目標や将来の夢や希望をもち、未来を切り拓く子どもの育成をめざします。

- ・気持ちのよいあいさつや返事をはじめ、基本的な生活習慣の確立に取り組みます。
- ・「キャリアパスポート」等を用いて、子どもとの対話を大切にし、一人ひとりのキャリア形成に努めます。
- ・家族の仕事の聞き取りや地元企業との連携等を通して、労働や職業に対する興味・関心、社会の形成に参画する意欲を高めます。

- (4) 「開かれた学校づくり」に努め、保護者・地域とともに子どもを育てる教育をめざします。
- ・学校だより・学年だより、ホームページを通して、学校育方針や子どもたちの様子を知らせ、学校に対する理解を進めます。
 - ・学校行事、PTA活動等への参加率アップに努めます。
 - ・地域素材の教材化、地域人材の有効活用に積極的に取り組みます。
 - ・保護者や地域の人たちと子どもたちとの活動機会を大切に、学校理解や連携を図ります。

- (5) 「安心・安全な学校づくり」に努めます。
- ・地域の協力を得ながら、交通事故防止・不審者被害防止のための登下校指導を実施します。
 - ・健康・安全および食生活について考え、自分の健康管理ができる力を育むとともに、命と健康の尊さと成長の喜びを感じる教育を行います。
 - ・常に子どもの言動に気を配り、子どもの良さや気にかかったことを出し合い、次の指導に生かせる情報の交換に努めます。
 - ・防災教育、避難訓練等を定期的実施し、自分の命を自分で守るスキルを身につけられるよう取り組みます。

5 めざす教師像 「専門職としての自覚を持って、自ら研修に励み、子どもとともに歩む教師」

- (1) 学ぶ楽しさを味わわせ、子どもが主体的に追求する学習活動を創造する教師
- (2) 愛情深く子どもを見守る教師
- (3) 差別をなくしていく感性と実践力をもつ、人間性豊かな教師
- (4) 職員、家庭、地域との連携に努め、優しさと厳しさを兼ね備えた信頼される教師
- (5) 危機管理意識をもち、状況に応じ、実効性のある対応ができる教師
- (6) 「伊賀市学校職員の総勤務時間縮減のための業務改善ポリシー」を守り、職務内容の精選と過重労働削減に努め、心身ともにゆとりをもって教育活動に邁進する教師
 - ☆職員会議・研修では、連絡確認は打ち合わせにし、1時間以内の終了をめざします。
 - ☆毎週水曜日を定時退校日と定め、全職員が18時までには退校するようにします。
 - ☆「帰れる日には早く帰る」意識を高め、時間外労働を月平均30時間以内にします。
 - ☆年休取得計画に従って、順に休めるよう職場全体でカバーします。一人当たりの年休取得日数「15日以上」となるように働きかけます。
 - ☆働きやすい環境づくりの実現をめざし、職務内容の精選と過重労働削減の取り組みの進捗状況を安全衛生委員会にて確認し、次への取り組みにつなげます。また、教職員間のコミュニケーションを活発に行います。
- (7) 服務規律を遵守し、信頼される教師
 - ☆コンプライアンス研修を通じて社会規範やルール、マナーの遵守など意識の向上を図ります。

6 重点事項

- (1) 学力…「基礎学力の定着」と「コミュニケーション力の育成」
 - ・達成感、満足感を味わえるわかる授業づくり
 - ・復習に重点を置いた基礎学習
(全国学力学習状況調査の全国平均以上と、みえスタディ・チェックの県平均以上)
 - ・考えながら聞く、ていねいに話すことを大切に落ち着いた学習環境

- ・学び合い、深め合う中でつながる喜びを感じ、次への意欲がもてる学習内容
- ・読書活動の充実、意欲的に取り組む家庭学習、楽しい外国語活動・英語の授業

(2) 人権・・・「学校全体の仲間づくり・学級集団づくり」

- ・行くのが楽しいと思える学校
- ・一人ひとりの違いや良さを認め合う仲間づくり
- ・困っていることを教師や友だちに相談できる人間関係づくり
- ・まちがったこと、おかしいと思うことに気づき、解決しようとする実践力
- ・児童会活動や運動会などで、低学年や全体のことを考えられる高学年の指導力育成
- ・人権課題に応じた身近な学習題材の創造

(3) キャリア・・・「当たり前のことを継続する意欲と態度の育成」

- ・元気で、はつらつとしたあいさつや返事をする。
- ・時間いっぱい掃除をする。
- ・次に使う人のことを考えて、トイレのスリッパをそろえる。
- ・家族の一員として、家庭での仕事を継続して実施する。
- ・生き方を見つめる出会い学習や体験学習を推進する。
- ・失敗を恐れずに挑戦し、あきらめないうまく取り組む子を育てる。
- ・夢や志をもち、その実現に向けた主体的な活動の場づくりをする。